

瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

令和 8 年 8 月 25 日

エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社

〒212-0865 神奈川県川崎市川崎区千鳥町1番2号

代表取締役社長 工藤公敏

1. 許可申請の概要

(1) 工場の概要

工 事 名 場 業 又 は の 称	エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社 防府工場			
所 在 地	山口県防府市鐘紡町 3 番 1 号			
業 種	合成樹脂製造業	従 業 員 数	48 人	
主 要 製 品 名	フェノール樹脂 「ベルパール」 炭素吸着材 「ベルファイン」			
特 定 施 設 (番号・名称・ 基数)	3 3－イ 縮合反応施設 反応槽 4 基 3 3－ロ 水洗施設 B P 水洗機 3 基 3 3－リ 排ガス洗浄施設 1 基→2 基			
排 水 量	通 常	1755m ³ ／日	最 大	2130 m ³ ／日
排 水 量 及 び 負 荷 量 の 増 減	排水量及び負荷量の増減無し 排水量 通常1755m3/日 COD負荷量 27.4kg/日 排水量 最大2130m3/日 窒素負荷量 120.0kg/日 リン負荷量 3.17kg/日 ※令 7 環境政策第 1 1－2 4 号			
排 水 処 理 施 設 の 種 類 及 び 数	活性汚泥処理設備 1			

(2) 特定施設の設置（変更）の理由及び概要

- ① 特定施設33.合成樹脂製造業の用に供する（イ）縮合反応施設である「特定施設No.22」が老朽化しており同等能力、同型機にて更新する。また 特定施設33.合成樹脂製造業の用に供する（リ）排ガス施設である「特定施設No.26」 1 基を新設する。
- ② 特定施設No.22は同メーカー同仕様。同型装置にて交換更新を行う。

(3) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少（変わらず）の場合は理由

「特定施設No.22」は同型同サイズ仕様設備で更新するため設備規模や能力に旧機と差異が無い。また旧機と同じ配管に接続し、旧機と同一製品の製造に供する為、各特定施設の通常・最大水量、使用方法、汚水の水質に変更は無い。また、「特定施設No.26」を新設することで経路が変更となるため別紙 3、4、5 について変更するが、各特定施設の経路変更のみなので主排水口における通常・最大水量、使用方法、汚水の水質に変更は無い。よって事業場からの排出水の汚染状態及び量の変更は有りません。

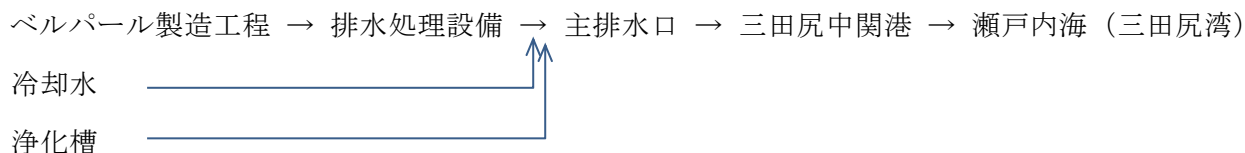
2. 施行規則第4条第1項の既定に関する事項

(1) 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

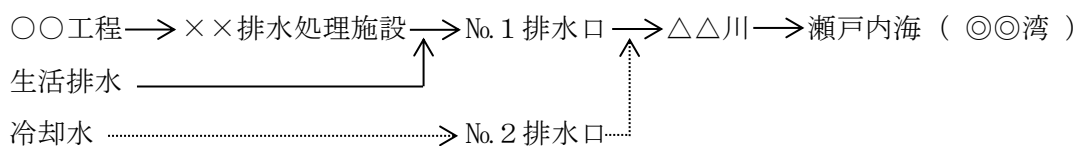
ア 排水口の位置 添付図 添付第1図 のとおり

イ 排水口の数 1 カ所

ウ 排水系統及び水系図の略図



(例)



(2) 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準 その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

ア 水質汚濁に係る環境基準

(イ) 人の健康に係る環境基準

項目	銅	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	P C B	ジクロロメタン
基準値	0.003 mg/ℓ 以下	検出されないこと	0.01 mg/ℓ 以下	0.02 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.0005 mg/ℓ 以下	検出されないこと	検出されないこと	0.02 mg/ℓ 以下

項目	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン
基準値	0.002 mg/ℓ 以下	0.004 mg/ℓ 以下	0.1 mg/ℓ 以下	0.04 mg/ℓ 以下	1 mg/ℓ 以下	0.006 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.002 mg/ℓ 以下

項目	チウラム	シマジン(CAT)	チオベンサルブ(ベンチオカーブ)	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサン
基準値	0.006 mg/ℓ 以下	0.003 mg/ℓ 以下	0.02 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	10 mg/ℓ 以下	0.8 mg/ℓ 以下	1 mg/ℓ 以下	0.05 mg/ℓ 以下

- 備考 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
 2 「検出されないこと」とは、定められた方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
 3 海域については、ふっ素及びほう素の基準は適用しない。

(イ) 生活環境に係る環境基準 令和7年版環境白書参考資料集 p 97 に記載の値

排出先の河川・海域名		三田尻湾 ・防府海 域(2)			
環境基準点		HD-4			
環境基準類型		C-III			
基準 値	水素イオン濃度 (PH)	8.0～8.5			
	生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/ℓ	—			
	化学的酸素要求量 (COD) mg/ℓ	1.4～4.8			
	浮遊物質 量 (SS) mg/ℓ				
	溶存酸素 量 (DO) mg/ℓ	6.2～10			
	大腸菌 数 CFU/100mℓ	—			
	n-ヘキサン抽出物質 量 mg/ℓ	—			
	全窒素 mg/ℓ	0.16～2.4			
	全燐 mg/ℓ	0.017～0.17			

イ その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

(3) 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大量並びに当該排出水の汚濁負荷量

排水口 番号又は 名 称	区 分 項 目	現 状			設 置 (変更) 後			負荷量の 増 減
		通 常	最 大	※ 負荷量	通 常	最 大	※ 負荷量	
主排水口	排水量 m ³ /日	1,755	2,130		1,755	2,130		無し
	水素イオン濃度 (PH)	7.0	5.5～ 8.5		7.0	5.5～ 8.5		無し
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)	—	—		—	—		無し
	化学的酸素要求 量 (COD)	4.6	45	27.1	4.6	45	27.1	無し
	浮 遊 物 質 量 (SS)	1.0	25		1.0	25		無し
	全 窒 素 (T-N)	33.8	93	74.4	33.8	93	74.4	無し
	全 磷 (T-P)	0.2	4.5	0.76	0.2	4.5	0.76	無し
	排水量 m ³ /日							
	水素イオン濃度 (PH)							
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)							
	化学的酸素要求 量 (COD)							
	浮 遊 物 質 量 (SS)							
	全 窒 素 (T-N)							
	全 磷 (T-P)							

※ 負荷量 (kg/日) = 最大排出量 (m³/日) × 通常水質 (mg/ℓ) × 10⁻³

(4) 周辺公共用水域の水質の現況及び排水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

ア 海 域

採水機関名	令和7年版 環境白書 参考資料 山口県環境生活部 P97、P302	分析機関名	
-------	--------------------------------------	-------	--

測 定 点 名		HD-4 (35-641-01)								
採水年月日及び時間		項目 区分		水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層								
		中 層								
		平 均								
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層								
		中 層								
		平 均								
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層								
		中 層								
		平 均								
総 平 均				18.4	8.2	2.0		0.61	0.050	8.6
将 来 水 質										

測 定 点 名		HD-4 (641-01)									
採水年月日及び時間		項目		水温(℃)	p H	COD _(mg/ℓ)	SS _(mg/ℓ)	T-N _(mg/ℓ)	T-P _(mg/ℓ)	DO _(mg/ℓ)	
		区分									
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層									
			中 層								
				平 均							
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層									
			中 層								
				平 均							
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層									
			中 層								
				平 均							
総 平 均											
将 来 水 質											

測 定 点 名										
採水年月日及び時間		項目 区分		水温(℃)	p H	COD _(mg/ℓ)	SS _(mg/ℓ)	T-N _(mg/ℓ)	T-P _(mg/ℓ)	DO _(mg/ℓ)
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水	表 層								
		中 層								
		平 均								
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：	質	表 層								
		中 層								
		平 均								
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：	現 況	表 層								
		中 層								
		平 均								
総 平 均										
将 来 水 質										

イ 河 川

採水機関名						分析機関名				
水域・測定点名		項目 区分 日時	p H	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	流量 (m³/日)	DO (mg/ℓ)
	月	:								
		:								
		:								
	日	:								
平 均										
将 来 水 質										
	月	:								
		:								
		:								
	日	:								
平 均										
将 来 水 質										
	月	:								
		:								
		:								
	日	:								
平 均										
将 来 水 質										

ウ その他当該水域に関する事項 無し

(5) 影響範囲及び予測の方法

ア 汚濁負荷量の増加の有無 (有 ・ 無)

(ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は、イ以下は省略する。)

イ 排出水の公共用水域での影響範囲

添付第 図

ウ 予測の方法

ア) 海 域

(1) 新田式 ($\log (r_2 \theta / 2) = 1.226 \log Q + 0.086$) から求めた周辺公共用水域の外縁までの距離 (r) は、 m です。

(注) $\theta =$ (拡散角度)

$Q =$ $m^3 / \text{日}$ (最大排水量)

(2) ヨーゼフ・ゼンドナー式 { $C = 1 - \exp \left(- \frac{Q_0}{\theta d p} \left(\frac{1}{x} - \frac{1}{\ell} \right) \right)$ }

から求めた希釈率 (C) は次のとおりです。

$C (r / 3 \text{ の地点 }) =$

$C (2r / 3 \text{ の地点 }) =$

$C (r \text{ の地点 }) = 0$

(注) $Q_0 =$ $m^3 / \text{日}$ (最大排水量)

$\theta =$ (拡散角度)

$d = 2 m$

$p = 864 m / \text{日}$

$x =$ m 、 $m (r / 3、2r / 3 \text{ の距離 })$

$\ell =$ $m (r \text{ の距離 })$

(3) $S' = S_1 + (S_0 - S_1) \cdot C$ から将来の水質を予測すると、

($r / 3$ の地点)

$S' (\text{COD}) =$ $+$ ($-$) $=$

$S' (\text{SS}) =$ $+$ ($-$) $=$

$S' (\text{T-N}) =$ $+$ ($-$) $=$

$S' (\text{T-P}) =$ $+$ ($-$) $=$

($2r / 3$ の地点)

$$S'(\text{COD}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

(r の地点)

$$S'(\text{COD}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

イ) 河 川

$$S' = \frac{SQ + (S_0 Q_0 - S_0' Q_0')}{Q + (Q_0 - Q_0')} \quad \text{から将来の水質を予測すると、}$$

地点名 ()

$$S'(\text{BOD}) = \quad =$$

$$S'(\text{COD}) = \quad =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad =$$

地点名 ()

$$S'(\text{BOD}) = \quad =$$

$$S'(\text{COD}) = \quad =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad =$$

地点名 ()

$$S'(\text{BOD}) = \quad =$$

$$S'(\text{COD}) = \quad =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad =$$

(6) その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項

排出水量、汚濁負荷量の増加は無いため、環境影響に変化無し